

**2020年上半期の国内家庭用ゲーム市場は1748.1億円。
ハード・ソフト市場ともに前年比増、2012年以降最大の規模に。
ソフトランキング首位は「あつまれ どうぶつの森」。
Nintendo Switchが躍進し、累計1400万台突破。**

ゲーム総合情報メディア「ファミ通」は、2020年上半期の国内家庭用ゲームソフトとハードの売上速報をまとめました。集計期間は2019年12月30日～2020年6月28日です。

※本データを記事にてご使用になる場合は、ファミ通調べ、もしくはゲーム雑誌「ファミ通」を発行する当社(KADOKAWA Game Linkage)調べなど、必ず「ファミ通」というブランド名の記載をお願いいたします。

【市場規模比較】(2019年上半期の集計期間は2018年12月31日～2019年6月30日)

単位:億円

	ハード	ソフト(※)	合計
2020年上半期(26週)	793.4	954.7	1748.1
2019年上半期(26週)	661.2	739.9	1401.0
前年比	120.0%	129.0%	124.8%

※パッケージ版(ダウンロードカード、本体プリインストール版を含む)のみの推計(ダウンロード販売、アイテム課金などのデジタル決済は含まず)

【各ハードの販売台数】(累計販売台数の集計期間は各発売日～2020年6月28日/単位:台)

ハード名	メーカー名	発売日	2020年上半期 推定販売台数	推定累計 販売台数
Nintendo Switch ^{※1}	任天堂	2017/3/3	2,666,882	14,050,313
プレイステーション4 ^{※2}	ソニー・インタラクティブ エンタテインメント	2014/2/22	435,812	9,184,055
Xbox One ^{※3}	日本マイクロソフト	2014/9/4	2,685	113,931
ニンテンドー3DS ^{※4}	任天堂	2011/2/26	33,340	24,529,487

※¹: Nintendo Switch Liteを含む合計値です。

※²: プレイステーション4 Proを含む合計値です。

※³: Xbox One S、Xbox One Xを含む合計値です。

※⁴: ニンテンドー3DS LL、New ニンテンドー3DS、New ニンテンドー3DS LL、ニンテンドー2DS、New ニンテンドー2DS LLを含む合計値です。

【2020年上半期家庭用ゲームソフト販売本数 TOP10】(累計販売本数の集計期間は各発売日～2020年6月28日)

単位:本

順位	ハード	タイトル	メーカー	発売日	2020年上半期 推定販売本数	推定累計 販売本数
1	Switch	あつまれ どうぶつの森	任天堂	2020/3/20	5,004,720	5,004,720
2	PS4	ファイナルファンタジーVII リメイク	スクウェア・エニックス	2020/4/10	931,165	931,165
3	Switch	ポケットモンスター ソード・シールド	ポケモン	2019/11/15	650,859	3,638,993
4	Switch	リングフィット アドベンチャー	任天堂	2019/10/18	577,875	1,073,514
5	Switch	マリオカート 8 デラックス	任天堂	2017/4/28	346,034	3,005,043
6	Switch	大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL	任天堂	2018/12/7	284,717	3,737,769
7	Switch	Minecraft	日本マイクロソフト	2018/6/21	280,662	1,426,601
8	PS4	バイオハザード RE:3	カプコン	2020/4/3	263,625	263,625
9	Switch	ポケモン不思議のダンジョン 救助隊 DX	ポケモン	2020/3/6	260,802	260,802
10	PS4	龍が如く7 光と闇の行方	セガ	2020/1/16	259,580	259,580

2020年上半期の国内家庭用ゲーム市場について

2020年上半期の国内家庭用ゲーム市場規模は、ハードが793.4億円(昨年対比120.0%)、ソフトが954.7億円(同129.0%)、ハード・ソフト合計で1748.1億円(同124.8%)となりました。「あつまれ どうぶつの森」の発売でNintendo Switchが好調に推移し、上半期としては2012年以降で最大の市場規模となりました。なお、両市場とも前年比プラスとなるのは、2006年上半期以来14年ぶりとなります。

上半期ソフトランキング1位は、「あつまれ どうぶつの森」(任天堂/2020年3月20日発売/Switch)で、500.5万本を販売しました。Nintendo Switch向けタイトル歴代最高の販売本数を更新し、10年ぶりにパッケージ版単独で累計500万本を達成しています。また、ファン待望の「ファイナルファンタジーVII リメイク」(スクウェア・エニックス/2020年4月10日発売/PS4)は93.1万本を記録し、2位にランクインしました。

発売から4年を迎えたNintendo Switchですが、新型コロナウイルス感染症の影響で生産が遅延したことから、2月以降は需要が供給を上回る状態が続いています。しかしながら、「あつまれ どうぶつの森」の登場や、巣ごもり需要の拡大、昨年9月に発売されたNintendo Switch Liteの貢献により、2機種合計で前年同時期の約1.8倍となる266.7万台を販売。累計販売台数は、6月期に1400万台を突破しました。

2020年下半期には、年末商戦に最新ハードのプレイステーション5とXbox Series Xが発売予定で、2020年後半のゲーム市場の新たな盛り上がりが見込まれます。

<ファミ通調べ>

(注)

ソフトの売上本数については、集計期間中に販売されたすべてのタイトルを対象としています。2種類以上のバージョンや周辺機器・本体等との同梱版が発売されているソフトのデータは、すべての種類を合計した数字となります。(発売日は前に発売されたものを表示しています)